

## 【22\_003/技術系メルマガ】『空間探し』と『目線の固定』

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今日の初モーニングライブ(笑)を視聴して下さった皆さん、ありがとうございました！

▼アーカイブはコチラ▼

<https://youtu.be/yNUWP4H5KH8>

今年もアクセル全開で頑張りますので、よろしくお願いします。

┌  
└─┬─ 今日の1コンテンツ ~『目線の固定』について~  
└──┘

トレードするにあたって、僕らはいつも『目線を固定する』ことが大事だと言っていますが

これはどういうことかというと

~『事前に』自分がその日にトレードする方向を 決めておく こと~です。

こう書くと、割と誤解されがちなのですが

事前に値動きの「方向性を予想している(できる方法がある)」と思われることが多いです。

残念ですが、実際問題それは 不可能 です。

一部では、「値動きは前もってわかる」という言い方をされる人もいるようですが

それは特定の条件に限定されているか、ポジショントーク(都合のいい表現)である可能性が高いので注意しましょう。

実際、そんなことができる手法があるとしたら、それは『相場の不確実性』を否定することと同じです。

相場の中に『自分なりの規則性』を見出すことと混同しないように気を付けたいですね。

さて、話を戻します。

僕らがいつも言う『目線の固定』というのは

先の値動きが目線方向に言ってくれるかはわからないけれど

『目線方向に行ってくれる場合は、一定規模のリワードを狙うトレードができる”可能性が高い”』

と前もって計画しておくことを意味します。

つまり、「先の値動きの予想」ではなく、『トレードプラン(計画)』と言ったほうがしっくりきます。

では、どんな基準で『目線を固定』すれば良いのか？

そこで、タイトルにも書いたように『あいてる空間を探す』ことです。

～～

例えば、以下の画像の点線部分に注目してください。

▼チャート例 GBPUSD▼

<https://drive.google.com/file/d/1oASsty4Td985pCurGbjwwfHnQpjqG8sQ/view?usp=sharing>

図中の点線から右側が見えないと仮定して、自分なりに水平線を引いたり、MAとの位置関係を確認してみてください。

自分がトレードしようと思う方向を前もって固定しておけるなら

このチャートはその人にとって、ある方向に向かってトレードがしやすい環境であるということです。

敢えて僕が引いていた余計な水平線などは外しておいたので、各自で考えてみてくださいね。

～～

この『空間を探す』という作業をするために、テクニカルを用います。

その際に役立つのが、いつも自分の基準で引くラインや、表示しているMAと

価格との 位置関係 で『どちらの方向に広い空間が空いているか』を判断することなのです。

やっていること自体は、それほど難しくありません。

ただ、何が難しいのか？

それは、～自分がその”基準”を信じて、同じ判断をし続けること～です。

自分で決めた基準を『信頼』できるようになるには、同じ基準で判断する訓練(検証)を1つでも多くやることしかありません。

そのうえで、作った基準に沿ったフォワードテストを経て、はじめて実戦で使えるようになります。

毎度同じようなことを言っていますが、一つの基準(=型)を作るというのは膨大な時間・労力を要するものです。

それなくしてトレードで勝つことは不可能です。

ですが、その時間と労力を捧げ続けた人には、それに応じた果実をもたらしてくれるものです。

僕自身もまだまだやるべきことがあります。努力あるのみですね。

それでは、また次回のメールで。

クロガキ(クロ)